



令和4年度国際セミナー プログラム  
「誰もが必要な支援技術・支援機器を利用できるようにするために」

日時： 2023年2月26日（日）14:00～16:40（日本時間）、オンライン開催（Zoom）

- 14:00-14:05 事務連絡（通訳音声切り替え、字幕切り替え方法の案内）
- 14:05-14:10 開会挨拶  
森 浩一、国立障害者リハビリテーションセンター 総長
- 14:10-14:30 発表1 基調講演 「アクションを呼び起こす『支援機器グローバルレポート』」  
カイリー・シェー OAM  
WHO 医薬品・健康機器部支援機器アクセスチーム テクニカルオフィサー、  
スイス
- 14:30-14:50 発表2 「支援機器へのアクセスの改善 -フィリピンの経験から-」  
ポール・マシュー・ジャオ  
デ・ラ・サール医科保健科学院 リハビリテーション部 助教授、フィリピン
- 14:50-15:10 発表3 「インドにおける義肢装具サービスと教育の現状」  
アラタトラン・パトラ  
国立運動障害研究所 講師（装具学）、インド
- 15:10-15:30 発表4 「インドネシアにおける義肢装具へのアクセス -現在の課題-」  
クリスタ・アドリアン・テンゲス  
ファトマワティ総合病院 リハビリテーション専門医、インドネシア
- 15:30-15:50 発表5 「フィジーにおける障害のある子どもたちへの移動機器サービス提供」  
スロニ・ペレラ  
フランク・ヒルトン・オーガニゼーション（フィジー） 最高経営責任者、  
フィジー
- 15:50-16:10 発表6 「日本における支援機器と支給制度」  
山崎 伸也  
国立障害者リハビリテーションセンター 支援機器イノベーション情報・支援  
室 支援機器評価専門官、日本
- 16:10-16:35 ディスカッション、一般参加者からの質疑応答  
司会：井上 剛伸  
国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 福祉機器開発部長、日本
- 16:35-16:40 閉会挨拶  
芳賀 信彦、国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局長